

大学院進学という選択

関西学院大学 大学院法学研究科

Kwansei Gakuin University
Graduate Schools
Law and Politics



大学院での学び その先にあるもの

前期課程には、エキスパートコースとアカデミックコース、2つのコースが設置されています。
「学生の進路を具体的に見据えた上で高度専門職業人養成に資する5つのプログラムを提供するエキスパートコース」と「研究者の養成を目的とするアカデミックコース」のコース制を導入した教育・研究活動がなされ、多様な授業科目が提供されています。

大学

大学院での専攻、指導教員の決定

入学試験

3年

4年

9月

2月

1年

4月

入学式 履修登録(各セメスター開始時)

2月

院生合同研究報告会

2年

9月

院生合同研究報告会

1月

修士論文提出

3月

修士学位記授与式

大学院前期課程

法律実務プログラム

司法書士、税理士、弁理士、公認会計士、不動産鑑定士等の専門職や裁判所事務官、家庭裁判所事務官、家庭裁判所調査官等の採用試験を目指す者を対象としたプログラム

ビジネス法務プログラム

企業法務や人事・労務その他企業等での活躍や、企業経営に関与する司法書士、社会保険労務士等の専門職を目指す者を対象としたプログラム

公共政策プログラム

国家・地方公務員、議員、NPO・NGO 職員、ジャーナリスト等、公共的な問題にかかわる職務に就くことを目指す者を対象としたプログラム

国際関係プログラム

国際公務員、国際的 NPO・NGO 職員、ジャーナリスト、大学・地方公共団体などの国際交流要員を目指す者を対象としたプログラム

自由研究プログラム

上記の4つのプログラムに横断的かつ総合的にアプローチできるような基礎研究を可能とするプログラム



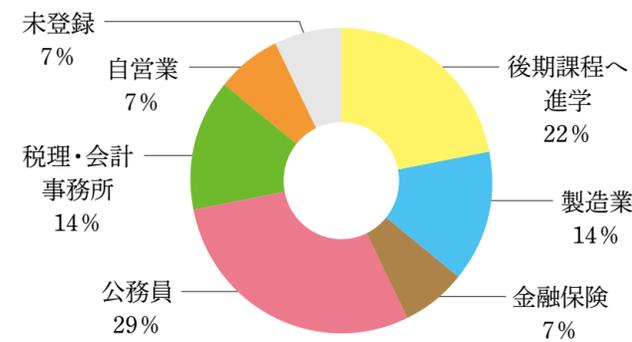
エキスパートコース

アカデミックコース

後期課程に進学し、研究者となることを希望する者を対象としたコース

高度専門職業人として各業界へ！

2014年度修了生の進路



主な就職先

家庭裁判所書記官、国税庁、兵庫県庁、西宮市役所、(株)みなと銀行、シャープ(株)、住友不動産(株)、パナソニック(株)、大鵬薬品工業(株)、など

大学院後期課程での学びを通じて修了者が大学教員として活躍しています。

関西学院大学、近畿大学、京都府立大学、同志社大学など

大学院後期課程

大学院進学に伴う諸費用について (2015年度実績)

学 費	
入 学 金	230,000円(本学学部からの進学者は半額免除)
授業料他	682,000円
合 計	842,000円(初年度納入金)

大学院では充実した奨学金・研究奨励制度があります！

奨学金(年額)	
【支給】	ベーツ特別(入学時) 680,000円
	ベーツ1種 340,000円
【貸与】	日本学生支援機構(無利子) 600,000円 または 1,056,000円
	日本学生支援機構(有利子) 600,000円、960,000円、1,200,000円、1,560,000円、1,800,000円のいずれか

支給奨学金と貸与奨学金の重複受給が可能です。詳しくはホームページで。

研究奨励制度(教学補佐給与(年取))

1年次	154,000円
2年次	525,000円

「教学補佐」として採用された場合、上記給与が支給されます。「TA」として採用された場合は上記に加えて約140,000円(年取)が支給されます。

Interview

現役院生 & 修了生に聞く！



稲田 千紘さん

前期課程1年生

—大学院の授業には慣れましたか。

学部の授業は、先生の講義を聞くことが大半ですが、大学院では、先生や他の受講生が、自分の発表に対して質問やコメントをします。また、発表に不慣れなので、1回の用意に最低5時間はかかり、毎日なんとか準備が間に合っている状態です。また、何を発表するかを自分で決めなければならないことも、授業の特徴ではないかと思っています。進学したばかりの時は、発表テーマの決め方や、方法がわからず戸惑いました。先生の助言もあって、研究方法の本を読んだり、先輩に相談したりして、今は進めています。学部時代は、友人や先輩に勉強のことを相談することなどなかったので、新鮮な気持ちです。

授業の失敗談としては、先生に簡単なことを質問して「自分で勉強しなさい。読んだらわかるでしょ。」とかえされたり、分からないまま話にうなずいていると「わかってる？」と突っ込まれたりすることがありますね。院生の仲間に助けられることがかなりなので、早く先輩を助けることができるようになりたいと思います。

—大学院の魅力とは。

正直、こんなに大変だと思わなかったです。けれど、先生に1対1で指導していただけることは、それを上回る魅力です。先生が教えることではなく、自分が研究したいことを追及することができます。本気で勉強したい人は、ぜひ大学院に進学してください。



花田 智美さん

前期課程2年生

—大学院の授業って、どんな感じですか。

学部と比べて、大学院の授業が特徴的なのは履修人数です。1つの科目に3~8人しかいません。一人40分くらいの報告が、1学期に3回くらい回ってくることもあります。きちんと準備しないと授業内容が深められないので、責任重大です。後期課程の方と一緒に外国法の勉強をしたこともありました。

—修士論文の準備は進んでいますか。

学部時代に卒業論文がなかったのが、大きな論文を書くのは初めての経験です。9月に合同研究報告会があって、そこから論文の構成を練りなおしました。私の演習クラスは2名しかいないので、論文指導は本当に丁寧にしていただけます。1回の指導で2時間じっくりとみていただいています。

—進路に迷っている学部生にアドバイスを。

私自身、進路に迷って、大学院にきました。4年生の7月時点でも進路が定まりませんでした。ゼミの渡邊先生に相談したところ、大学院で勉強しながらじっくり進路について考えてみたら、とアドバイスを受けました。その時はじめて大学院を進路として意識しました。実際に大学院で学んでみて、この2年間は進路を考える上でとても有意義だったと実感しています。



税理士 鈴木則夫税理士事務所
萩原 稔さん

2013年3月31日修了

私は、現在、関学の卒業生を中心に組織されたメイトアカウンティンググループの鈴木会計事務所所属税理士として勤務しております。法人の会計・税務はもちろんのこと、経営相談および相続関連業務を行っております。会計・税務・法務と多岐にわたる法律に触れる機会に恵まれ、研究科で学んだ事の重要性を日々痛感しています。

法学研究科の授業では、決められたテーマ(多くは自分で選んだものですが。)について、時間をかけて調べあげ、報告します。多くの授業では、一回の授業につき発表者は一人または二人程度で、それぞれ、報告+質疑応答を行います。一コマを任せられることもあるので、しっかりと議論できるだけの材料を提供する必要があります。そこで緻密に調べあげ、相手に理解できるように説明するということが、今現在の私の仕事にも通じることがあります。

依頼人が何を求めているのかということ明らかにし、適切に対応し、そして、その結果を分かりやすく相手に伝える必要があります。このような作業はどのような仕事についても、必ず求められるものであると思います。

さらに、大学院では、修士論文を執筆することになりますが、この執筆作業もまた、貴重なものでした。

論文を書くということは、順序立てて相手に自分の研究テーマを伝えることです。論理的に物事を説明すること、普段、自分では出来ているつもりでも、案外出来ていないものです。文章にして相手に物事を伝えることの難しさ、自分と同じように相手方に理解してもらうことの難しさを、修士論文の執筆を通して学びました。このような経験は大学院で修士論文を執筆したからこそできたものです。

修了生 INTERVIEW

弊社は、食品パッケージ、書籍などに使用される印刷インキ(世界シェア30%)、液晶テレビ・スマートフォンの発色に欠かせない有機顔料(グリーン顔料世界シェア80%)など高い世界シェアを有する製品を多く取扱う化学メーカーです。私は、法務部に在籍し、このようなビジネスを支えるべく、契約書の作成、審査業務を行ったり、会社運営を支えるべく、株主総会の事務局、コンプライアンス業務などを担当しています。

契約書には、国内外の企業等との間での製品の売買契約、製品開発時に取り交わす秘密保持契約、M&A時の事業譲渡契約などがあり、お取引先、製品等も多岐に亘ることから、それぞれに適応した契約書を作成しなければなりません。また、株主総会業務では、株主からの質問に適切に回答すべく想定問答を作成したり、コンプライアンス業務では、各事業所を訪問し、従業員への説明会を実施するなどコンプライアンス意識の向上に努めております。

このような業務を遂行するにあたっては、大学院時代の学びが活かされていると実感しております。法学研究科に在籍中、会社法や金融商品取引法などを学びましたが、指導教員である教授のきめ細かい指導を頂き、法的議論を具体的事例に当てはめて検証していくという力を養うことができました。これが今の業務を遂行する上で社内外の人に説得力のある説明・交渉ができる源だと考えています。株式会社の本根に携わっているという責任感を日々感じ、楽しく業務に取り組んでいます。

DIC 株式会社 法務部
小谷 陽香さん

2014年3月31日修了



大阪府庁
石川 麻耶さん

2013年3月31日修了

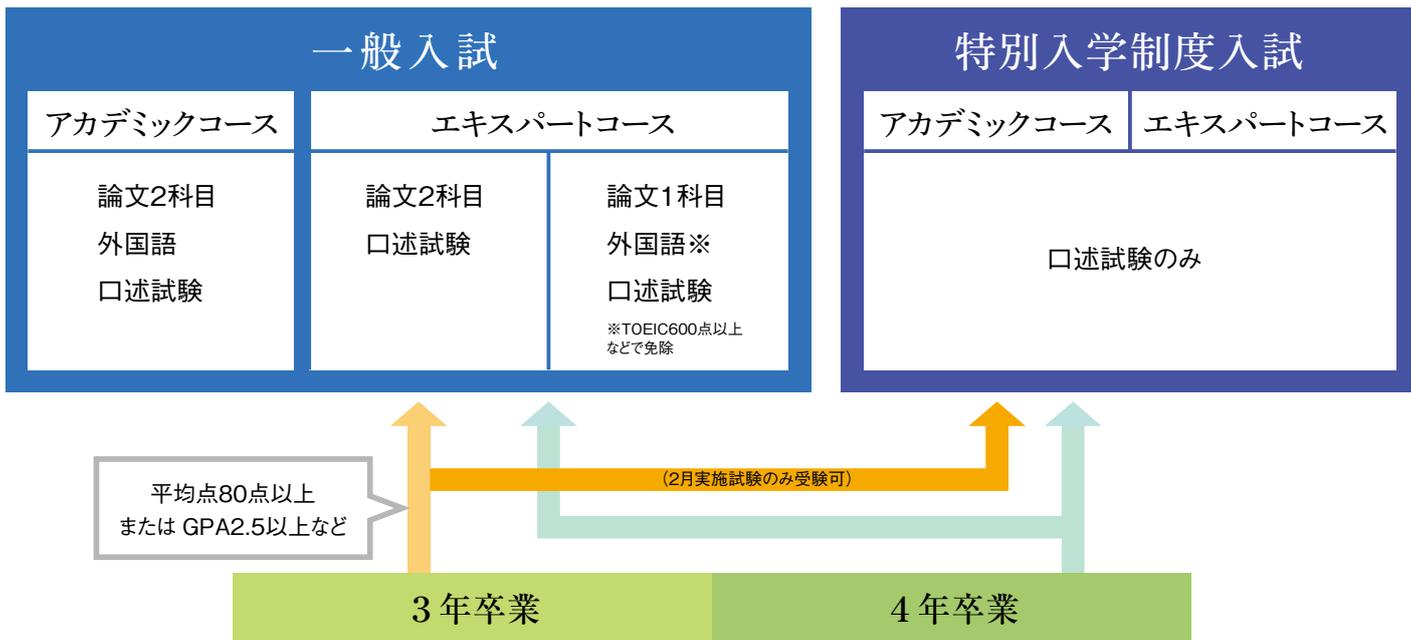
大阪府庁では、行政職として採用された後、総務、会計、法務、事業担当、審査業務等、様々な所属で多種多様な業務を担当することになりました。私は入庁後、商工労働部雇用推進室人材育成課に配属となり、府内の雇用情勢を踏まえ求職者の方への就職支援に関する事業を行い、法務も担当していました。現在は、財務部税務局中央府税務所に配属され、法人事業税・府民税の課税を担当しています。

私は、行政法を専攻していました。こちらの研究科では、行政法・公共政策分野のカリキュラムが充実しており、行政法全般に関する法的解釈をはじめ、政策分析、施策立案等の学習を通して、公的機関で働くために必要な知識・スキルを身につけることができました。また、法科大学院との合同授業や現役公務員の方々との勉強会もあり、とても刺激を受けました。

現在、公務員として働く中で「コンプライアンス」が強く求められています。研究科で法的解釈や行政運営の基礎をしっかりと学んだことがとても活かされていると感じています。加えて、大阪府では新規採用職員であっても即戦力となる人材が求められています。研究科では、学部よりもさらに広い範囲を学ぶだけでなく、より深い理解と、それに基づき自ら積極的に意見を述べる姿勢が必要となります。そういった、深く物事を考える訓練や積極性は、業務を遂行する上での私の強みになっていると思います。研究科での学びは、確実に自らの力となっています。

大学院前期課程 入学試験制度

一般入試、特別入学制度入試の口述試験は9月と2月に実施されます。いずれかに合格すれば、大学院に進学できます。



2012年度～2014年度実施 前期課程入試実績 (延べ数)

	受験者数	合格者数
一般入試	53	25
特別入試	17	17

受験者の方へ

- 論文（専攻）科目や指導教員などは、ホームページ掲載の「前期課程担当教員・受験科目等一覧表」から選択してください。
- 過去問題はホームページ掲載の「法学研究科 入学試験過去問題申込書」を事務室に提出することで入手可能です。

Interview

経験者に聞く！ 大学院受験

－大学院進学を決めたきっかけは。

学生時代のゼミの一環としての柏原での活動をとおして、将来、自分自身がまちづくりにかかわりたいと考えようになりました。指導教員の山下先生に相談したら、大学院でもっと勉強をしたら良いと勧められました。民間企業や公務員への進路と悩んだのですが、本当にやりたいことをするためにはもっと勉強しなければ、と思いました。大学院進学を決めたのは4年生の夏ごろです。親に伝えると「社会に出るまでに、ちゃんと勉強なさい」と応援してくれました。

－受験準備として、どんなことをしましたか。

私は英語と論文（行政法）1科目を受験しました。英語が苦手だったので、速読の本を毎日20分程度読んでいました。行政法の教科書を3冊くらい読んで、自分で問題を作って、解答を考えたりしました。2月の試験に備えて11月頃から本格的に勉強を始めました。公務員試験の勉強をしていたことが有利に働いた部分もありました。

－後輩にアドバイスするとしたら

論文の対策はしっかりしておいた方が良いと思います。ヤマを張らずに万遍なく勉強しておかなければなりません。勉強を始めた頃は不安で仕方がなかったのですが、毎日勉強することと、先生に相談することで落ち着いて試験に臨むことができました。進学相談会で先輩から試験や面接について教えていただいたことが非常に参考になりました。



森 裕美さん (一般入試で入学)
前期課程 1年生

－大学院を選択した理由は

学部を選ぶときに国際政治に興味があって法学部を選びました。学部生時代は国家公務員を目指しており、そのためには大学院で学ぶことが必要だと思いました。

－大学院の試験対策は。

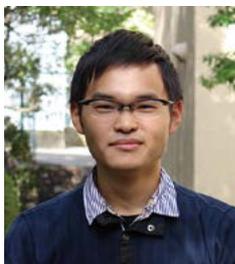
3年生の夏ごろから大学院を意識し始めて、12月頃から実際の準備を始めました。私は、研究計画を書くのに時間をかけ、特に先行研究を徹底的に調べることに注力しました。理論と事例を比較して、事例を使って意味ある見解を示すことができるかを意識すること、マクロ・ミクロの両方の見方が大切です。『研究計画書の考え方-大学院を目指す人のために-』（妹尾健一郎）などが参考になると思います。試験直前には1日8時間以上勉強したこともあります。実際に他大学の大学院に足を運んで情報収集したこともあります。

－口述試験の準備はしましたか。

志望理由書に大学院入学動機と研究計画、将来の進路が繋がっていることを明示するように意識しました。志望理由書をもとに質問があるので、それに備えることが大切だと思います。想定問答を志望理由書の10倍くらい用意したおかげで、質疑は想定通りに進みました。

－大学院に入学してみて

入学前に週3日くらい来れば良いと聞いたこともありましたが、全然違いました。きつかったけれど、抽象的に物事をとらえる力や、理論的に考える力が圧倒的に身についたと思います。



田上 紘之さん (特別入学制度入試で入学)
前期課程 2年生

あなたもできる?!『3年卒業』

実は **6人に1人** が可能性あり! (2015年度実績)

早期(3年)卒業の条件 (すべての条件を満たすこと)

1. 休学期間を除いて早期卒業時に3年以上在籍していること。
2. 卒業に必要な単位をすべて修得していること。
3. 卒業に必要な単位に含むことのできる科目の平均点が80点以上またはGPAが2.50以上であること。
4. 本学大学院法学研究科の前期課程一般試験、特別入学試験(2月実施)、本学法科大学院の入学試験、本学大学院経営戦略研究科の入学試験、マルチプル・ディグリー制度による本学他学部の編入学試験に合格すること。

3年卒業で大学院に進学するメリット

① 入試科目が口述試験のみ

大学院前期課程特別入学制度を利用すれば、入学試験科目が口述試験のみとなります。

② 入学金半額免除

本学学生が大学院に進学する場合、入学金が半額免除となります。

③ 充実した奨学金

ベーツ特別奨学金に採用されれば、1年次の授業料がほぼ無料!
2年次も数学補佐、TAの報酬で授業料を全額補填可能です。

④ 5年で修士学位を取得

5年間での修士学位習得は優秀者の証し! 就職にも有利に働くはず。

他にもメリット多数です。



法学研究科には院生の自治組織である「院生会」があります。学年の枠を超えて、研究・親睦の輪を広げています。



院生会長 川上 生馬さん
後期課程2年生

- 院生会の紹介をお願いします。

大学院生全員に院生会の加入をお願いしています。教学補佐業務の調整や学部事務室への窓口になったりします。新入生への履修指導や、年3回の院生会などを通じて、院生同士の風通しの良い関係づくりに貢献しています。特に私は院生会長を引き受けるにあたって、コミュニケーションを大切にしているので院生室の雰囲気が明るくなったはずですよ(笑)。

- 院生室での話題はどんなものが多いですか。

大学祭のゲストやタレントの結婚など、他愛のない話から、哲学にいたるまで、話題は様々です。一転して、黙々と勉強をしているときもあります。一人で勉強したいときは大学院1号館を使う人も多いようです。

- 学部学生にひと言

大学院前期課程は真面目にやるか、やらないかで大きく分かれる2年間です。社会人も含めて異年齢の方と触れ合えるのは、大学にいながら社会経験ができる良い機会です。それは、とても貴重な経験です。大学院生は特殊な人達ではありません。私は学部時代の成績はあまり良くありませんでした。でも、先生の指導と仲間の刺激に支えられ、無事に前期課程を修了し、後期課程へと進学しています。前期課程での学習を通して、順序立てて話す力や書く力は圧倒的に強められたとこれまでの修了生も言っており、私自身も実感するところです。皆さんの入学をお待ちしています。

関西学院大学 大学院法学研究科

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
TEL 0798-54-6203 FAX 0798-51-0951

<http://www.kwansei.ac.jp/>